

## 5-5 東海地方における地震活動の変化

### Change of Seismic Activity in the Tokai District

気象庁地震予知情報課  
Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

第1図は東海地方における最近5年間（1995年5月1日～2000年4月30日）のM3.0以上、深さ60km以浅の地震活動の変化を示したものである。また、第2図は1997年11月からの最近2年間のM2.0以上の地震活動を見たものである<sup>1)</sup>。これらの図に示したA、B、Cの3領域の地震活動に見られる主な変化は次の通りである。

A領域：1997年から1998年にかけて、若干地震数が少なかったが、その後1998年4月22日のM5.4の三重・岐阜県境の地震（岐阜県美濃中西部）、6月23日のM4.2の三重・奈良県境の地震活動が発生した。1999年1月下旬からは三重県中部の地震活動が始まり、地震回数が増加したが、活動は徐々に収まっている（第2図）。1999年後半からは、愛知県周辺など領域北部のフィリピン海スラブ内および地殻内でM3以上の地震がやや活発である。伊勢湾や三河湾でもM3クラスの浅い地震が発生している（第1図）。

B領域：全体的には1998年頃から静かな状態が続いている（第1図）。M2以上の地震活動で見ると、1998年5月頃から、活動が低下傾向となる中で、1999年5月7日に静岡県中部（静岡・山梨県境付近）でM4.7の地震が発生し、余震を伴った。その後、この地震の余震が収まった後、M2以上の地震で見ると1999年後半以降、地震活動のレベルはやや低い状態である（第2図）。1999年11月～2000年4月の期間に、B領域で発生したM3以上の地震は5個で、1989年からの累計は131個である<sup>\*1)</sup>。

C領域：新島・神津島付近では、1996年末から、M3を越えるような集中的な地震活動がなかったが、1999年になって2月14日M3.8、3月14日M4.7、3月28日M5.0の地震を含むバースト的な活動が発生した。その後はM3クラスの地震が散発的に発生する程度で、地震が少ない状態である。1998年4月の伊豆半島東方沖の群発地震活動以後、伊豆半島付近を中心に北側の領域では活動レベルが低下している（第1図、第2図）。

#### 参 考 文 献

- 1) 気象庁地震予知情報課：東海地方における地震活動の変化，連絡会報，63(2000)，224-228。

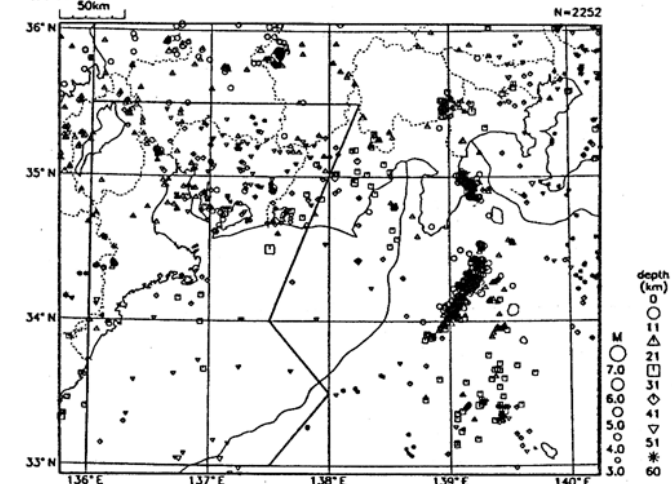
\*1) 最近6ヶ月間(1999年11月～2000年4月)にB領域で発生したM3以上の地震は5個で、以下の表に示す通りである。1989年7月から1999年10月までの地震は、連絡会報第44～63巻「東海地方における地震活動の変化」の末尾に掲載。

No.	年	月	日	時	分	深さ	M	最大震度	地域
127	1999	12	11	22	18	40.0	3.5		遠州灘
128	2000	01	24	04	28	41.6	3.6	1	遠州灘
129	2000	02	12	03	28	29.2	3.0		静岡県中部
130	2000	03	01	21	29	33.9	3.3		静岡県中部
131	2000	04	08	16	38	28.1	3.1		山梨県中西部

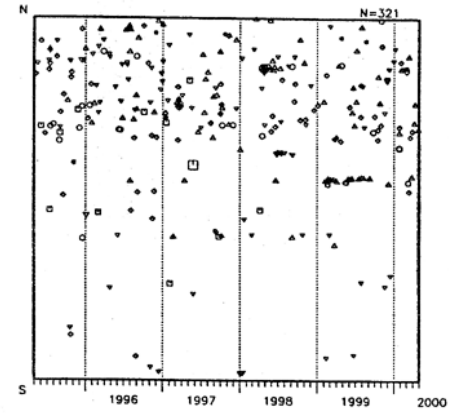
# 東海地方における地震活動の変化（最近5年間）

1995年5月1日～2000年4月30日 M $\geq$ 3.0 深さ: 0～60km

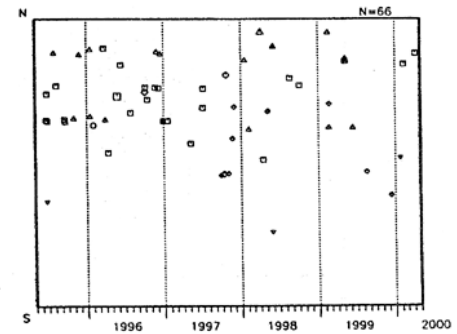
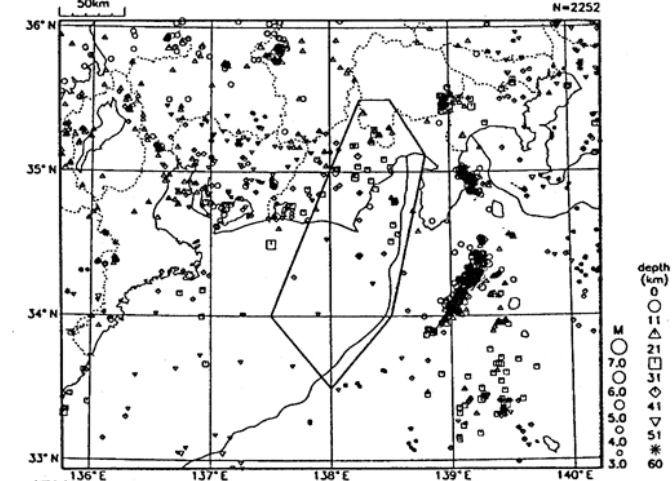
①震央分布図  
A領域



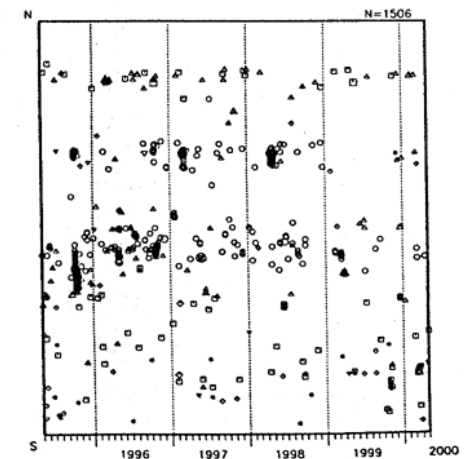
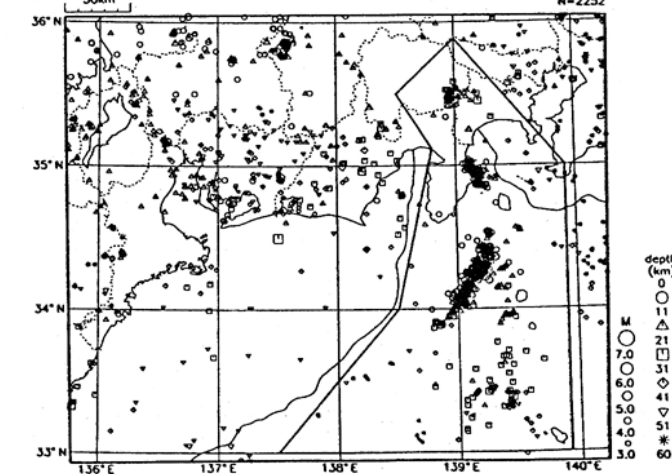
②時空間分布図



B領域

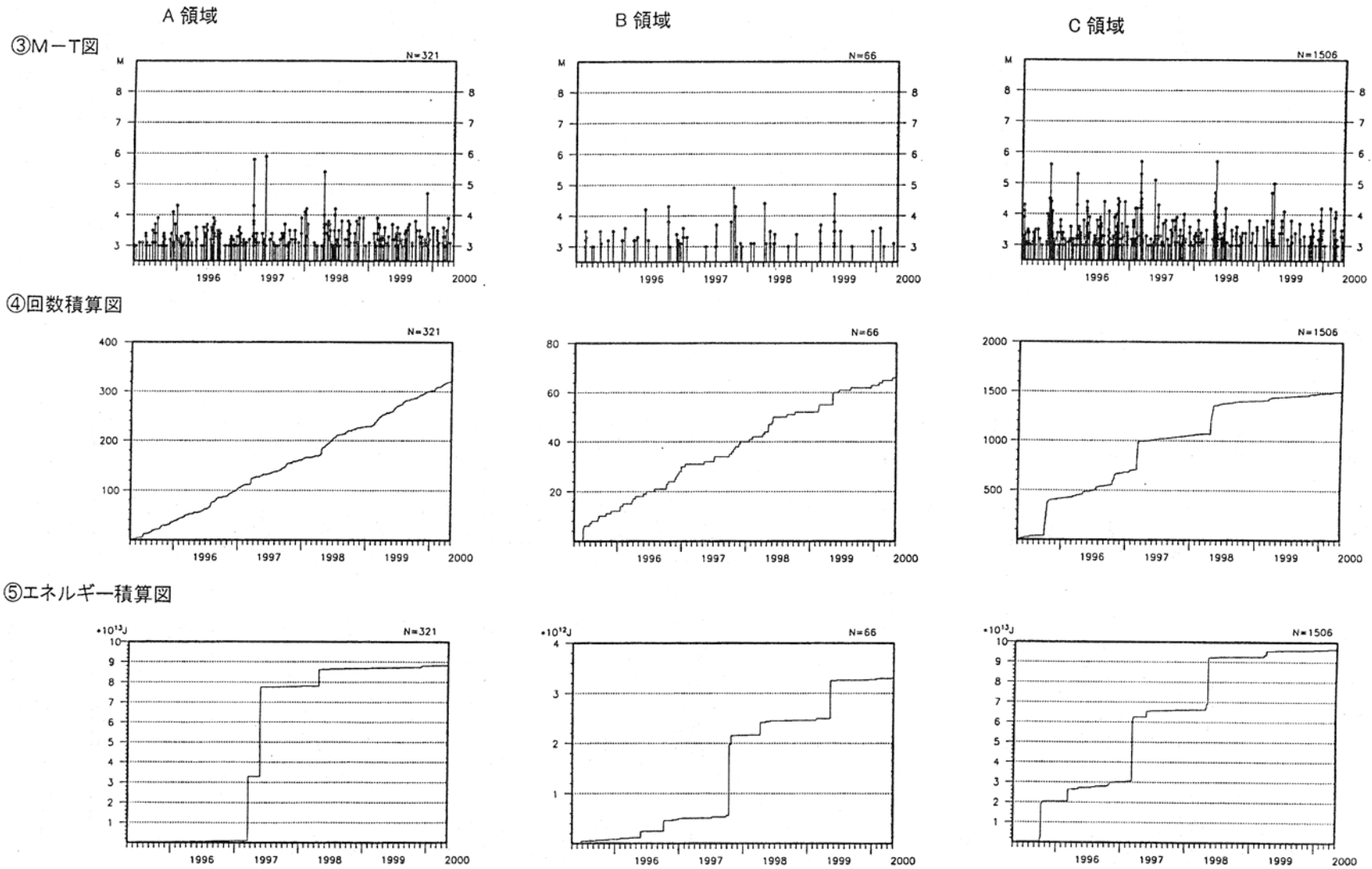


C領域



第1図 東海地方のA,B,C領域における最近5年間の地震活動（1995年5月1日～2000年4月30日：M $\geq$ 3.0以上、深さ60km以浅）(1)震央分布、(2)時空間分布、(3)M-T図、(4)地震回数積算図

Fig.1 Seismic Activity in the A,B,C regions in the Tokai District during the last 5 years (May 1, 1995 - April 30, 2000 : M $\geq$ 3.0, depth $\leq$ 60km). (1): Epicentral distribution, (2): Space-time plot, (3): M-T diagram, (4): Cumulative number of earthquakes.



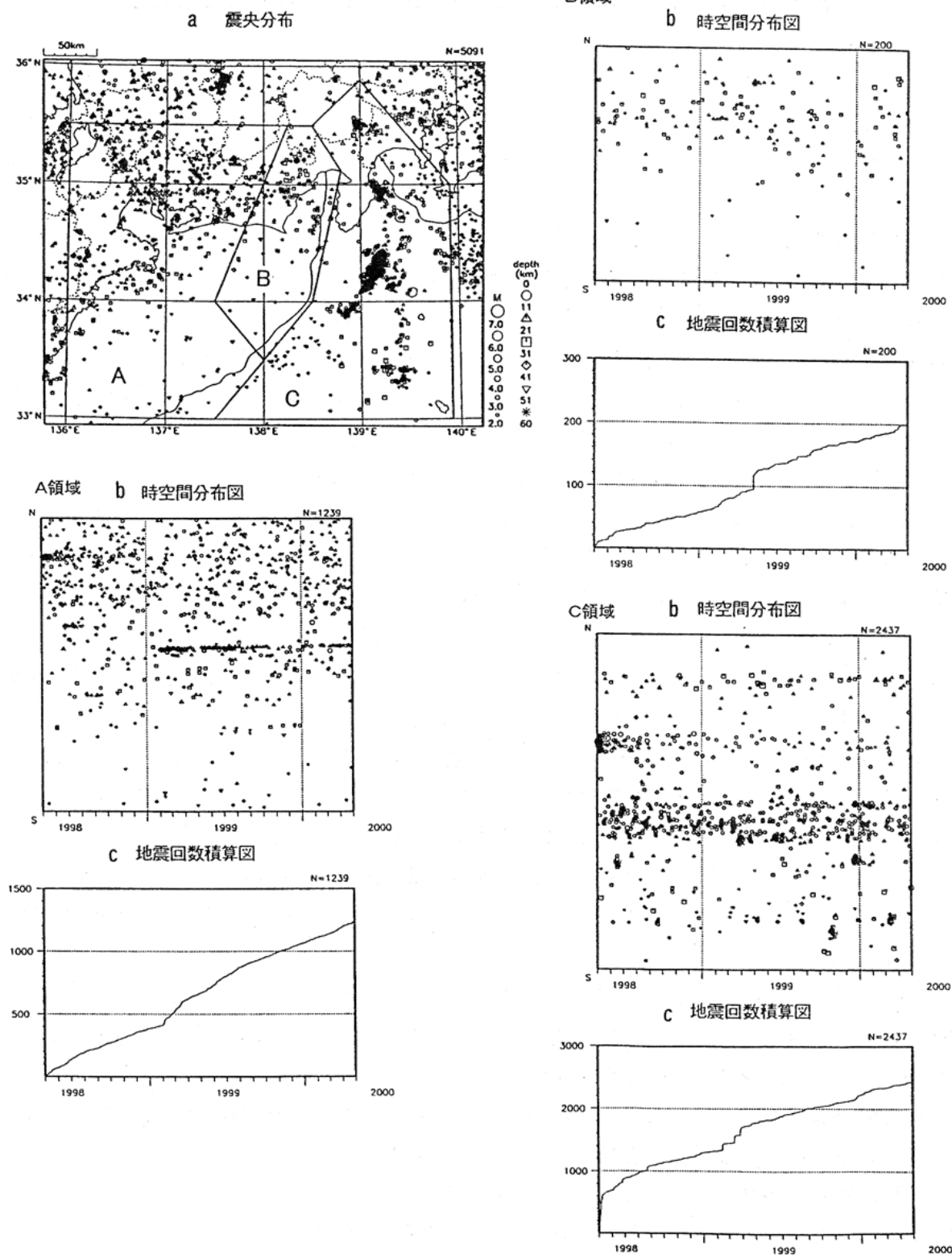
第1図 つづき

Fig.1 (Continued)

東海地方における地震活動の変化（最近2年間）

1998年5月1日～2000年4月30日

M $\geq$ 2.0 深さ: 0~60km



第2図 東海地方のA,B,C領域における最近2年間の地震活動（1998年5月1日～2000年4月30日：M $\geq$ 2.0以上、深さ60km以浅）a：震央分布，b：各領域の時空間分布，c：地震回数積算図

Fig.2 Seismic Activity in the A,B,C regions in the Tokai District during the last 5 years (May 1, 1998-April 30, 2000 : M $\geq$ 2.0, depth $\leq$ 60km). a: Epicentral distribution, b: space-time plot, c: cumulative number of earthquakes for each region.